

おおぞら OZORA

平成17年度テーマ

『感動』{be impressed} 独自価値を高めよう

時代に挑み、次代を創る。



鳥取県東部中小企業青年中央会

- ◆発行人 勝原 章(平成17年度・会長)
- ◆編集責任者 井上 法雄(総務実行委員会委員長)
- ◆編集委員会 総務実行委員会

URL : www.tsc21.gr.jp E-mail : tsc@tsc21.gr.jp

綱領

- 一、われわれは自己の研鑽につとめ、英知を養う。
- 二、われわれは社会に奉仕し、お互いの友愛を深める。
- 三、われわれは団結して中小企業の発展を図る。

1年を終えて

AKIRA KATSUHARA



会長 勝原 章



今年度、会長という重役を勤めさせていただきましたが、役員、会員の皆様にはいろいろと協力していただき本当に感謝しております。また鳥取県中小企業団体中央会、OB、関係各位の皆様の多くのご支援に支えられ大変お世話になりました。一年間本当にありがとうございました。

さて今年度は30周年事業の翌年ということで、40周年に向けた新たな一歩を踏み出す重要な年であったと思います。30周年の活動のひとつであるCI活動においてキャッチフレーズ「時代に挑み、次代を創る。」を立ち上げ、また東部青年中央会の行動指針は「TSC4つの挑戦」としてビジネスに特化する。パーソナルアイデンティティを確立する。青年中央会ブランドを構築する。魅力ある青年中央会を創る。など40周年に向けての行動指針を明確にしましたが、まさにその実践が試される年になりました。

このキャッチフレーズと4つの挑戦を踏まえ今年度のテーマとして「感動」、サブテーマ「独自価値を高めよう」を掲げました。人を感動させることは経営者やリーダーにとって重要なスキルであると考え例会や委員会において「感動」をキーワードに活動していただきました。一年間の活動の多くの場面で人を感動させることの難しさを感じましたが、逆に人を感動させたときの喜びも実感できた一年でした。そして会員の皆様も経営者やリーダーとして人の心を動かすことの重要性を学ぶことができたと思います。また今年はTSC4つの挑戦の中で特にビジネスに特化することを念頭に置きました。具体的に委員会の活動としてはビジネスの創出、本業強化、第二創業、会のコーディネート、メンタリング、上場企業を目指すなど様々なビジネスに関わる勉強を一年間継続して行いました。私は東部青年中央会の独自価値は若手経営者、後継者の育成と中小企業の発展だと考えています。ボランティアやイベントで地域貢献することだけでなく、私たち自身が優秀な経営者になり、各会員企業が成長することで、雇用を増やすこと、また各企業が利益を出すことが東部青年中央会にとって重要な使命であり独自価値だと思います。今年度の活動において少しでも会の独自価値が高まれば幸いに存じます。

そして最後に、これから40周年に向けてますます会の独自価値に磨きをかけるため、キャッチフレーズ「時代に挑み、次代を創る。」の通り、時代を見据えて、挑戦、創造を繰り返し、さらには一歩先を見つめ歩いていく東部青年中央会の姿を期待しつつ、今年一年間を締めくくりたいと思います。本当にありがとうございました。

第5回

平成18年
4月16日(日)

フラワーフェスティバル in湖山池



谷口 昌弘
実行委員長

皆様の御協力で無事に終えることができました。会員の皆様、OBの皆様ありがとうございます。竹内市長にも御祝辞をいただきありがとうございました。実行委員会の方々には多大な御尽力をいただき感動の一言です。これからの青年中央会にはこのパワーが必要です。地域を巻き込み、全員参加で中央会を広くアピールしてメインのイベントに成長させていき、更には鳥取市の活力あふれる行事になることを期待しています。最後に公園管理者の方にはいろんな意味で御理解をいただき本当にありがとうございました。来年は晴天になることを願っております。



井上 誠
実行副委員長

第5回フラワーフェス
ズ皆様に感謝します。こ
でイベントに参加させて
いただきました。30周年と
え数々のイベントを企
思いでもある地域参加を
池ピオトープの会、児島
来た事が本当にうれしく
況にも負けずペットポ
ト加者など各イベントは大
だいた実行委員会の皆



、テイバルを無事終えることが出来た事に、ま
 のたびのイベントで実行副委員長と言う立場
 いただき、特にイベント企画全般に携らせてい
 のバランス、またイベント本来の趣旨をふま
 画、運営させていただきました。実行委員長の
 目的とした内容が開催でき、湖陵高校様、湖山
 OBを始めたくさんの方々とイベントを開催出
 思います。当日は残念な天気でしたが、その状
 ル、体験乗船、たくさんのフリーマーケット参
 盛況でした。頼りない指示のもと協力していた
 様、各会員様ありがとうございました。



大田 哲
 実行副委員長

今回は天気に恵まれなく残念でしたが、会員のみなさんありがとうござ
 いました。私は、花壇整備を担当させて頂きました。昨秋からの土
 の入れ替え作業から始まり、球根植え等で休日に協力して頂きました。
 そして、夜遅くまでの十数回の実行委員会の御蔭で、3月終わりの雪に
 もめげず満開とはいきませんでした、あんなにたくさんの花を咲か
 せることが出来ました。

また、私の想いの中に、地元との協力があります。今回は鳥取市を始め
 地元地区の方、湖陵高校と地域の参加の濃い開催だったと思います。
 来年以降、もっと地域の方が参加できる内容に出来れば最高だと思
 います。本当にありがとうございました。

「情報共有と横つながりを深めよう！」

平成18年2月16日に臨時総会と2月例会が行われました。臨時総会では、平成18年度新会長に(有)ウィル代表取締役の井上法雄会員を満場一致で選出しました。その後、2月手作り例会では、会員同士が中央会について話し合いを行える例会を企画しました。テーマを「情報共有と横つながりを深めよう！」として、グループディスカッション形式のものでした。6つのテーマを委員会内で設け、進行役と書記を決め、テーマごとに資料を集めたり、OBにお話を伺ったりして、例会に臨みました。当日は名刺交換を行ってから、進行役の司会によりディスカッションを行いました。皆様が活発なご意見を出して頂き、大変盛り上がりました。委員会

が異なる会員とのコミュニケーション、中央会について考えるという例会はこれからも定期的にあっても良いと思いました。皆様のご協力、大変有難うございました。



コーディネート委員会
委員長 清水 隆文
TAKAFUMI SHIMIZU

「本業強化！5分で完璧な自社アピールを！」

一度しかない担当例会をどう開催するか？やはり委員会活動でもある自社アピール。年間テーマである『本業強化！5分で完璧な自社アピールを！』をテーマに開催いたしました。講師に、モチベーションビルダー いとう伸先生、また雇用能力開発機構の共催により素晴らしいオープン例会が開催出来ました。一般参加者82名を含め計144名という大勢の参加があり、大変うれしく思います。講演では相手の心をつかむ方法、表現力、めづかななど客にとっての価値を生み出す方法など、すぐ実践に使える内容を学びました。池口副委員長、橋本会員の委員会活動で学んだ事を生かした自社アピールもすばらしかったです。例会参加者より、よかつ

た！参考になった！とうれしい感想を伺いほっと一安心しました。このオープン例会を開催するにあたり委員会メンバー、その他大勢の方々のご協力があったからこそ無事終えることが出来たと思っております。ありがとうございました。



コントラクト委員会
委員長 井上 誠
MAKOTO INOUE

「平成17年度 委員会活動報告会」

平成18年5月18日「平成17年度委員会活動報告会」と題して、5月例会を開催しました。今年度は「感動」をテーマに全会員が経営者・リーダーとしての重要なスキルを学びました。また委員会、例会・イベントなどの活動を通じ、仲間作り、自分育て・人育てなど、本当にいろいろな勉強をされたと思います。そこで今回の報告会は発表の手法に懲りすぎないで「見せる」報告から「聞かせる」報告会とさせて頂きました。各委員会が一年間どのような活動をして来たのかがとてもよくわかったのではないのでしょうか。また、新しい試みとしてステージ上にて委員会メンバー紹介をして頂き、委員長より一年間の思いをこめて一言、言って頂くという方

法をとりました。委員長の皆さんには無理を聞いて頂きありがとうございました。その結果とてもすばらしい委員会活動報告会になったと思います。

最後に一言、何ごとも「うまくやるより全力でやる」です。



メンタリング委員会
委員長 櫻井 幸浩
YUKIHIRO SAKURAI

ご卒業おめでとうございます。

平成17年度卒業会員 紹介



浜田 泰彦氏

田澤産業(株)
昭和62年度入会
セカンドプロジェクト委員会

清泰彦聖

才能がありながら能力をひけらかさず、温厚でありながらよく周りを見渡して『和』を重んじ、あらゆる人に信頼を置かれる浜田さんの人柄を表現しました。



木下 貴啓氏

(株)アサヒメッキ
平成元年度入会
コントラクト委員会

剛貴果断

意思がしっかりしていて気力に富み、物事に屈しないこと。思い切った事を行う。



瀧本 浩志氏

(株)ムーブ
平成7年度入会
クリエイションビジネス委員会

偉慶明瀧

偉業を行い、慶び(よるこび)を分かち合い。明日への発展へとつなげる人!

イ ケ ミョウ... メン タッキー



平野 裕章氏

(有)一高土木
平成7年度入会
コントラクト委員会

裕頂天外

有頂天を極め、さらにその上の状態。



櫻井 幸浩氏

医療法人明徳整形外科
平成9年度入会
メンタリング委員会

浩然之氣

自分の行動が正しく、天地に恥じるところがなければ何者にも屈しない大らかな勇気が満ちてくるということ。



高橋 勝美氏

エクセル21
平成12年度入会
コントラクト委員会

円転勝脱

人と争わずにうまく物事を運ぶ。かどが立たない。



山根 徹也氏

鳥取銀行
平成12年度入会
ドリームアクト委員会

趣業完徹

趣味の野球も夜の飲みも、そしてもちろん仕事も完璧にやり遂げる人という意味です。



麻生 聖史氏

三井生命保険(株)
平成13年度入会
コーディネート委員会

先手必生

先手必生(勝)。麻生氏の座右の銘は「先んずれば人を制す。」なので...



松井 正興氏

(有)トータルリンクゆめや
平成13年度入会
コントラクト委員会

邂逅相遇

偶然の出会い。思いがけずひょっこりと巡り会うこと。



安木 彰規氏

ヤスギ保険事務所
平成14年度入会
コントラクト委員会

規色満面

顔中に喜びの表情が満ちるようす。うれしそうなお顔を顔いっぱいに見せるようす。



木下 修司氏

(有)メガネフレンドキノ
平成16年度入会
クリエイションビジネス委員会

納修商統

修...学問を習うこと 納...その学問を体へ、脳へ納め 商...商売へつなげ 統...上記3文字をふまえ、人とし、商売人とし、すべての完成人として統一を目指している人! なしゅ~しょうとう ナイスショット!

親睦事業

ソフトボール大会

平成18年5月21日(日) 東郷野球場



先日、県親睦ソフトボール大会が晴天のもと賑々しく開催されました。

結果 優勝 西部Bチーム
 準優勝 東部Aチーム
 第3位 西部Aチーム
 西部MVP 古谷一朗 会員
 中部MVP 水谷昭徳 会員
 東部MVP 岡本安量 直前会長



新入会員研修会

4月26日(水)

ホテルニューオータニ鳥取 はまなすの間

水野商事株式会社

クリエイションビジネス委員会

水野 一久

KAZUHISA MIZUNO



今回、新入会員研修に参加させて頂きましたが、初めてお会いする新入会員の方が多くて驚きました。入会させて頂いて1年になり、所属する委員会の方々とは委員会活動を通じて交流がありましたが、同期の方とはなかなかお話しする機会がありませんでした。研修会をきっかけに懇親を深め、共に青年中央会を盛り上げていければと思います。

郷土料理 花のれん

セカンドプロジェクト委員会

岸下 輝明

TERUAKI KISHISHITA



東部中小企業青年中央会、新入会員研修会に出席し、改めて、本会の一員に加えて頂いた実感を得た気分でした。米村、古田、両元会長の本会への想い、現役員の方々の本会説明はとても自信に満ち、説得力のあるものでした。ただただ身の引き締まる想いの研修会でありました。



平成17年度新入会員研修会

出席者

水野 一久	クリエイションビジネス委員会
安部 剛司	ドリームアクト委員会
藤原 正実	ドリームアクト委員会
小西 和明	セカンドプロジェクト委員会
岸下 輝明	セカンドプロジェクト委員会
谷浦 浩次	メンタリング委員会
河場 和重	クリエイションビジネス委員会
早川 周作	クリエイションビジネス委員会
西川 立幸	メンタリング委員会

INFORMATION

会長杯ゴルフコンペ

5月13日土曜日
 天候 雨時々曇り
 TSC平成17年度
 会長杯ゴルフコンペ
 27名参加



	グロス	ネット
優勝	岡本安量 91	71.8
準優勝	木下修司 84	72
	平井義一 78	73.2



新入会員紹介

尾崎 正行

尾崎株式会社 / セカンドプロジェクト委員会

西川 立幸

(有)Brains / メンタリング委員会

加藤輪歌子

(有)COMFORT FACTORY / コントラクト委員会

編集後記

月日の経つのは早いもので、今年度も終わろうとしています。それはまた卒業の時。おぞらの編集作業をしながら今回の卒業生メンバーの写真を見て、その多さとともに各メンバーの濃厚さに大きな損失感と寂しさを拭いきれません。ラーメンのスープにしたら、すごいだしが出ることでしょ。青年中央会を引っ張ってこられた大きな原動力である方々ばかりです。この穴埋めは容易ではありませんが、現会員が力を合わせ、より一層素晴らしい会に育て上げねばと思う次第です。卒業生の皆様、おめでとうございませ。

(中村育史)

編集委員 井上法雄 國岡貴昭 小西和明 中村育史
 山本浩 星宗治 橋本政彦 河戸順二 瀧本浩志 岡本洋昌